

□ 要請番号 (JL63018A07)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	A241 コンピュータ技術		個別	交替 3代目	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業・食料安全保障省

2) 配属機関名 (日本語)

ナンプラ国立農業研究所

3) 任地 (ナンプラ州ナンプラ) JICA事務所の所在地 (マップ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約2.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

当研究所はモザンビークの北部地域の農業振興のために、野菜、穀物、家畜等の品種研究や土壌研究、農業機器、土木技術の導入調査・評価等、農業全般について幅広い調査研究を行っている1975年に設立された国立機関である。本要請を行ったナンプラの研究施設は、ナンプラ州を中心にモザンビーク北東部地域の調査研究を行う施設であり、ニアサ州リシंगाに所在する同様の施設が北西部地域を統括している。JICAでは当国北部地域における総合農業開発事業(プログラム)を実施中であり、当研究所にも人材と資機材の支援を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当研究所では、40名程の研究員や技術者が調査研究活動を行っており、その情報を各自に貸与されているPCで管理している。しかし、研究所全体でそれらの情報を活用するための人材、制度、機材が整っていないため、現在必要な機材の購入を進めつつ、それをシステム化できる人材の確保に努めている。ただし、モザンビーク国内ではこの分野の人材が不足しているため、JICAに対して人材支援の要請が行われた。本件要請の骨子は、情報の一元管理に必要なデータベースを基幹とする情報システムの構築と、簡易な構内LANの整備、および職員自身が自ら管理・運用できるように支援を行うことであり、現在2代目派遣ボランティアにより支援活動が行われているが、継続支援が必要と判断され、本要請が行われた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 個々の研究員、農業技術者の調査・研究情報を、研究所職員全体で共有できるようなファイルサーバーの構築およびメンテナンス
2. 情報の集積、管理、閲覧のための制度設計、およびデータベースシステム設計・開発・改変(現在派遣中のボランティアが計画を進めている)
3. ネットワークシステムの管理、メンテナンス方法の技術支援および指導
4. 将来的に遠方地域との連携を見据えた、広域情報ネットワークの構築検討

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

研究員に1台ずつ貸与されているデスクトップPC(またはノートはPC)OSはWin7、Win8、Win10混在
サーバー機材、ネットワーク・ルーター

4) 配属先同僚及び活動対象者

所長:男性 50代
農業研究員25名(学士、修士レベル)

農業技術者15名(学士、短大・専門学校卒業レベル)

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：任地の安全対策上

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：業務システム構築案件のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(10～40℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】